

2005年(平成17年)3月31日(木曜日)

蒲郡市にAED4台

豊橋ハートセンターが寄贈

豊橋ハートセンターを電気ショックで回復させるAED(自動体外式心停止状態となった心臓除細動器)4台を蒲郡市

操作法を学ぶ女性職員＝蒲郡市役所で



に寄付した。同市は市内の4カ所の公共施設に1台ずつ設置する。

AEDは、心臓が血液を送ることができなくなり、けいれんを起こした

際に使う装置。機械は症状を察知した時だけ作動し、アナウンスに沿って操作できることから、厚労省が昨年7月から一般の市民が無資格で使用することを許可した。市内ではラクーナ蒲郡、スイミングスクールがすでに導入している。

この日、豊橋ハートセ

ンターの鈴木院長が市役所を訪れ、金原久雄市長に「救急車が到着するまでの早期に使用すれば救命率は格段にあがります」と説明した。

また、市役所の窓口職員にも取扱説明会が行われ、職員たちは真剣なまなざしで同センター職員から操作法を学んだ。

設置するのは市役所、東部、西部の両市民センター、消防本部の4カ所としている。

(安藤聡)